

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2732 号 2015.11.21 発行

南港に生きて 不惑のニュータウン (上)

大阪日日新聞 2015年11月18日

「咲洲（さきしま）に住んでいる皆さん」。22日投開票の大阪府知事選が告示された5日、咲洲庁舎（大阪市住之江区）を背に呼び掛けた自民党推薦の新人候補栗原貴子氏（53）は「咲洲に庁舎があっても活性化していない」と本庁舎への統合を主張し、撤退後の活用策として「若者のエネルギーを発信するビルにしたい」と続けた。



臨海部「咲洲」の南港ポートタウン活性化は大阪ダブル選の論点になっている（コラージュ）

「この人のことを考えれば撤退はあり得ない」。政治団体・大阪維新の会の現職候補松井一郎氏（51）は「咲洲を成長するエリアに変える。府は知らん顔でいいのか」と反論し、咲洲庁舎の維持を訴える。

両候補が咲洲庁舎問題の論争を通して支持を求めた先が、咲洲の居住エリア「南港ポートタウン」の人々だ。
オールドタウン

戦後の産業経済振興を目的にした埋め立て地・咲洲の中央部に、大阪市が南港ポートタウンを「まち開き」したのは1977年。敷地面積約100ヘクタールの空間に緑地帯を広げ、一般車両の通行を禁止するノーカーゾーンを設けた環境モデル都市がセールスポイントだった。

81年に開業したニュートラム（住之江公園駅～中ふ頭駅）は97年にコスモスクエア駅まで延伸し、地下鉄中央線と接続。この間に小中学校の開校が相次ぎ、居住人口は3万2千人まで増えた。

しかし、まち開きを機に入居した第1世代が定年退職し、その子ども世代が親元を離れるニュータウン固有の問題は南港ポートタウンも例外ではなく、現在の人口は2万3千人に減少。20年後は1万3千人に落ち込み、高齢化率は56・2%に上ると予測され、オールドタウン化は進みつつある。

咲くまちPT

“活性化”“成長”のフレーズが響き渡る知事選一。南港ポートタウン居住者の間には「候補は（都合の）良いことを言う。エリア的にコンパクトに凝縮し、投票率も高いから」（60代男性）と冷ややかな見方があるが、その活性化、成長に向けて「ぼくたちは身近なところでやっていく」と語ったのは南港ポートタウンでまちづくりに取り組む原太雅さん（37）＝自営業＝だ。

原さんの役目は、咲くまちプロジェクトチーム（PT）の魅力発信部会リーダー。南港の自然や人情を写真、映像で広め、子育て世代の転入を促す。「行政も情報発信しているけど、生活者目線で発信することが大切」と話している。

× ×

南港ポートタウンがまち開きして間もなく40年。「不惑」の年を迎えるニュータウンに

生きる人たちの姿を追った。

南港に生きて 不惑のニュータウン (中)

大阪日日新聞 2015年11月19日

南港ポートタウンのまちづくりに取り組む咲くまちプロジェクトチーム (PT) 実行委員長の辻健保さん (69) は、1977年のまち開きを機に奈良県から移って来た。一般車両の通行を禁止し、緑地帯の景観に配慮した居住空間は「未来都市」に映ったが、転入後40年近くが過ぎ、地域が「廃れる」不安材料を目にするようになった。

「南港の中は樹木が多い。良いことやけど、築もう40年だ」。辻さんは、高橋英樹・大阪市住之江区長を迎えた咲くまちPTの会議でこう切り出し、樹木が根を張り過ぎたことによる遊歩道の路面変形の現状を訴えた。

ニュートラムを活用したPRを考える咲くまちPTメンバー (コラージュ)

小学校統合廃合

南港ポートタウンの総面積100ヘクタールのうち公園・緑地は16ヘクタール。緑に囲まれた住宅はその全てが賃貸、分譲マンションだ。世帯分離による第2世代の転出を背景に少子高齢化が進み、2016年度に府立咲洲高校が入学生募集を停止する。18年度には小学校2校を統合した小中一貫校が新設されるが、学校跡地の「廃れる」イメージは否めない。

その跡地利用について、辻さんは「若者向けの安価なマンションを建てられないか」と話す。若者の呼び水として地元のニュートラム沿線におしゃれなカフェや乳幼児用品店で形成するアーケード商店街の整備も思案し、南港ポートタウンを咲洲ウェルネス (健康) タウン構想の特区に位置付けた大阪市に働き掛ける意向だ。

こうした考えを描く土壌には南港ポートタウン近くのインテックス大阪の存在がある。休日に数万人単位のイベントが開かれ、12月4～7日も西日本最大規模のモーターショーが予定されている。「目と鼻の先まで若い人が来ている。魅力発信のPRは必要だ」と話す辻さんが頼りにしているのが、咲くまちPTの若い面々だ。

地域再発見

ニュートラムの新型車両試乗会開催、ウォーキングコースの看板設置、フォト・ピクニックの募集…。咲くまちPTの各部会が練った計画はいずれも地域資源を再発見、再認識したものだ。

結婚を機に移り住んだ魅力発信部会リーダーの原太雅さん (37) は「南港の今を見て素晴らしいと思っている。古くさは感じない」。子どもが誕生し、Uターンしたイベント部会リーダーの小川宗治さん (34) は「戻った時に子ども会が無くなっていたが、復活して4年になる。生まれたまちに恩返ししたい」と話した。



南港に生きて 不惑のニュータウン (下)

大阪日日新聞 2015年11月20日

インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症…。乳幼児を抱えた若い母親たちが保健師による症状や対応の説明に耳を傾けていた。

立冬を過ぎた10日、大阪市住之江区の南港ポートタウンで開かれた子育てサロンの参加者は3組。このうち生後3カ月の男児を連れた永広彩さん (33) も、この地で生まれ育った。

「住みやすさを知らない人は辺りな所に住まないと思う。でも、住んだことがあれば転出して戻ってくる人は結構多い」。つまり、居住者にとって「子育てしやすい」環境でもある、と永広さんは話す。

大阪湾を埋め立てた咲洲中央部の南港ポートタウンは緑地帯が広がり、一般車両通行禁止のノーカーゾーンになっているため、子育てに適しているというわけだ。

高層住宅団地の南港ポートタウンで暮らす子育て世代（コラージュ）

孤立地区

1977年にまち開きした南港ポートタウンに新たな居住エリア「コスモスクエア地区」が加わったのは10年前の2006年。若い世帯の割合が比較的多いが、7歳と5歳の2児を育てる大河原美佐紀さん（39）の気掛かりはコスモスクエア地区に「子育て基盤がない」こと。子育てサロンの施設や小学校が不備な点だ。

咲洲北部に位置するコスモスクエア地区は、南港ポートタウンの既存居住エリアからニュートラムで2駅。他の居住エリアから孤立し、ノーカーゾーンでもないため、2キロ先の小学校に長男を通わせる大河原さんにとって気掛かりな要素だ。

コスモスクエア地区から登校する児童が増える中、通学路で見守り活動を始めたのが子育てサロンを担当する主任児童委員、十鳥英子さん（65）。きっかけは「子どもと接する機会」を求めたためだった。

新たな故郷

十鳥さんのように、大河原さんも児童委員を買って出た。コスモスクエア地区で育児中の母親と既存エリアの子育てサロンを結ぶ「橋渡し役が私の役目」と考えている。

南港ポートタウンは一戸建て住宅がなく、高層住宅ばかりで、近隣関係の希薄化が課題に挙げられるが、十鳥さんや大河原さんのように地域の子どもを見守り、子育て世代に目を配る輪は広がりつつある。

10日の子育てサロン。永広さんは、南港ポートタウンへのUターン者が多い理由について「頼りになる親がいるんちゃいますか」と話した。まち開きから間もなく40年。南港ポートタウンは「新たな故郷」になっている。



「人命にかかわること」認知症高齢者の顔写真、登録を促進

読売新聞 2015年11月20日

石川県は、認知症の高齢者が行方不明になった場合に早期発見につなげるため、各市町に認知症高齢者の顔写真などの事前登録を促している。

登録には本人や家族の同意が前提となるが、個人情報の提供をためらう家庭もあり、自治体には丁寧な対応が求められる。県長寿社会課は「人命にかかわることであり、しっかりと登録を増やしてほしい」としている。

県は9月下旬、「認知症高齢者等SOSネットワーク連絡調整マニュアル」の運用を始めた。徘徊して行方不明になった認知症高齢者の早期発見を目的とし、県内各市町に、警察や消防など関係機関と連絡体制を整備するよう求めたほか、顔写真や身体的特徴などの事前登録を促している。集まった情報は、行方不明者が発生した際にネットワークの関係機関に提供される。自治体の境を越えて徘徊するケースもあるため、市町間での情報共有を密にする狙いもある。

すでにネットワークを独自に整備している自治体では、事前登録も進められている。金沢市では214人、白山市では53人がそれぞれ登録され、年間数件程度の活用があるという。登録が進んでいない自治体もあり、能登町は現在0人で羽咋市は1人のみ。同市の行方不明者が電車で移動して金沢市で発見されたケースもあり、市地域包括支援センターの担当者は「足腰が元気な人は遠くまで行ってしまふ。登録しておけば万一の時に役立つ」と強調する。

一方、登録が進まない側面もあり、各市町の担当者からは「行方不明になっても大事には至らないと考える人が多いのでは」「情報がどこまで広がるかわからず、提供にためらいがあるのでは」といった声が聞かれる。

県がマニュアル整備したことを受け、ほかの各市町もネットワーク作りと事前登録に向けた作業に力を入れ始めた。穴水町はネットワークの要項を定め、ケアマネジャーらを通して登録の説明を行うほか、職員が出向いて高齢者の写真を撮ることも考えている。珠洲市も、年内に登録の仕組みを整える予定だ。

県長寿社会課の三浦靖子課長は「事前に登録しておけば、連絡一本ですぐに動けるようになる。市町には積極的に取り組んでほしい」と話している。

「嫌なやつ（18782）と嫌なやつ（18782）足すと皆殺し（37564）」 女性教諭、算数授業で「不適切」語呂

産経新聞 2015年11月20日

神奈川県藤沢市の市立滝の沢小学校で、女性教諭（40）が算数の授業の際に「嫌なやつ（18782）と嫌なやつ（18782）を足すと皆殺し（37564）になる」とする語呂を読み上げて電卓の使い方を教えていたことが20日、市教育委員会への取材で分かった。市教委は「不適切な指導方法だった」とし、保護者説明会を開いて謝罪する。

市教委によると、授業は10月30日、女性教諭が担任する4年生の学級であった。黒板に「 $18782 + 18782 =$ 」と書いて問題を出し、答えを教える際に声に出して読み上げた。教諭は市教委の調査に、本かインターネットで見たとした上で「数字に興味を持ってもらうためだった。反省している」と話したという。保護者から今月18日に連絡を受けた県教委が市教委に伝え、市教委は19日、同校に確認した。

「障害わかれば」発言の茨城県教育委員が辞意

読売新聞 2015年11月20日

茨城県教育委員を務める長谷川智恵子氏（71）が、県の会合で「妊娠初期に（障害の有無が）もっとわかるようにできないか。4か月以降になるとおろせない」などと発言した問題で、長谷川氏が橋本昌知事に電話で辞任する意向を伝えたことが20日わかった。

橋本知事は了承する方針。

長谷川氏は20日、読売新聞の取材に「障害のある方やご家族に配慮のない話し方で、申し訳なかった。県にも迷惑をかけた」と話し、「発言の真意は障害の方が生きていなければいいということではなかったが、騒ぎになってしまったことを悔やんでいる」と述べた。

長谷川氏は18日、県庁で行われた県総合教育会議に出席。知事が会議終了間際に自由な意見を求めた際、県内の特別支援学校を視察したことに触れ「（学校では）ものすごい人数の方が従事しているし、県としても大変な予算だろうと思った。生まれてきてからじゃ本当に大変ですね。一生がありますから、小中高の間は預けられるけれど、その後は親、きょうだいが見ることになる」などと発言した。長谷川氏は19日、発言を撤回するとともに謝罪のコメントを発表していた。

長谷川氏は東京・銀座の日動画廊副社長。日仏交流の功績により仏政府から勲章を受章し、芸術や文化などに造詣が深い。今年4月から教育委員を務めている。

共働きの親子は「疲れ」を自覚しづらくなっている

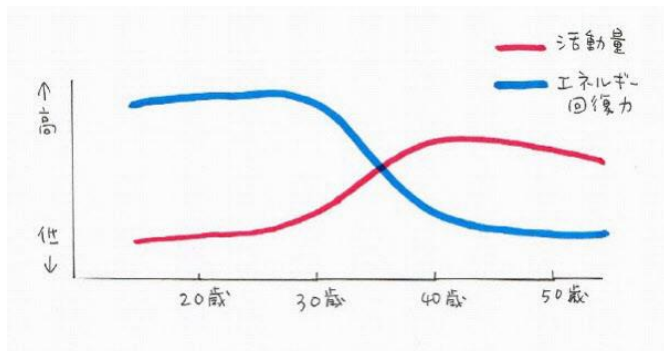
日本経済新聞 2015年11月20日

仕事も子育ても、一生懸命にがんばろうとしているけれど、うまく回らず、ため息ばかりついていませんか。陸上自衛隊初の心理幹部として16年にわたって隊員達のメンタルヘルス教育をしてきた心理カウンセラーの下園壮太さんに疲れたところを充電する必勝アイデアを提案していただきます。

■疲れから復活する力は35歳前後で変わる

あなたは一日に何回「疲れた～」というフレーズを口にしますか。長時間の会議が終わったとき、それとも保育園のお迎え後に帰宅し荷物を置いた瞬間、あるいは朝起きた瞬間から「疲れが抜けない…」と実感している人もいるかもしれません。

共働きしているから、子育てしているから、疲れるのは当たり前——こんなふうに疲れている自分をはぐらかしていませんか。でも、あなた自身が疲れを認めてケアすることは、ストレス対処法として最も効果的な対策である、ということをお伝えしたいと思います。



若いときは徹夜をしても一晩ぐっすり眠れば復活できた。でも、今は徹夜をすると1週間ぐらいはその疲れを引きずってしまう、と思っているあなた、その実感は正解です。下の図のように、私達は年齢を重ねるとともに「活動量(思考や活動に使うエネルギー量)」が増えていきます。職場でも部下ができたり、責任のある仕事を担う機会が増えてきたり

するし、子育てはそれだけで大変な労力を伴うもの。その一方で「エネルギー回復力(疲れを回復する力)」は減ってきます。

実はこの2つの線がクロスするのが、ちょうど35歳ぐらいの時期。

同じぐらいの労力を伴う仕事をして、その疲れから復活する力は、35歳以前とそれ以後では大きく変わってくる。だから、仕事のやり方、ストレス対処の仕方をしっかり見直していく必要があります。

さらに、親だけでなく、最近子どもも疲れていると私は思うのです。

その原因は、子どもの遊びが体を動かすものからデジタル系に変わったことが影響しています。

■なぜ、子どもは疲れているのか？

屋外で走り回り、体をいっぱい使うような遊び方をしていると、子どもははっきりと疲労を感じます。子どもは大人よりも数倍、睡眠力が高いですから、夜にぐっと眠ることで翌朝にはエネルギーを回復できるもの。

しかし、ゲームのように「興味」「反射力」「スリル」をかき立てられる遊びは、体は疲れなくても知らず知らずのうちに心を疲労させます。ゲームに熱中した後は、目や頭がぼーっとするような疲れを感じるものです。体を動かした後の疲れとは全く種類が異なります。思春期の男の子が「だりー」とか「疲れたー」と言うと、「ゲームばかりして疲れてもいなくてせに」と怒ってしまうかもしれませんが、実際は子どもも気づかないうちに疲れている、と思ってあげる必要があるかもしれません。

ゲームによる疲れは一日中デスクワークをしている大人と同様のものとイメージしてください。妙に神経がたかぶって眠れない、だから、子どもも疲労を回復しにくくなる。実際に、10年ほど前からわが国でも「子どものうつが増えている」ということが問題視されています(※)

(※2003年に北海道大学大学院保健科学研究院傳田健三教授らによる小中学生3331人を対象とした調査。「何をしても楽しくない」「生きていても仕方がない」などうつ症状に関する18項目の質問で、小学生で12~13人に1人、中学生で4人に1人の割合で「抑うつ群」という結果が出た)

デジタル系の遊びやSNSによる感情のもつれによって精神疲労を蓄積するのは学童期以降ですが、もっと若い未就学世代も、最近は、核家族化によって子どもの預け先がなく、



親の生活リズムに合わせざるを得ないことから夜型になりしっかりと深い睡眠を得られず、疲労を蓄積している子が多くなっていると感じます。

■こころの疲労は明確な症状がなく、自覚しにくい

幼い子どもを育てるときにつきものの「睡眠不足」、さらに会議やパソコン作業など頭脳労働による「精神疲労」、それだけでなく私たちは人との接触による「感情の発動」によってもつねにエネルギーを消費しています。

大事な仕事のプロジェクトが控えているけれど子どもがまた熱を出すのではないかと不安になる、夫とのケンカで怒る、職場で自分ばかりが面倒な仕事を押しつけられているのではないかとイライラする、子どもを叱り過ぎて後になってくよくよする……こんなふうになんか色々な感情をかき立てられることによっても人はどんどん、エネルギーを消費しています。しかし、人はそれを「疲労」とは自覚しにくいのです。心の疲れは、肉体的な疲れとは違い、じわじわとゆっくり進むので、「疲れた」という自覚は起こりにくい。むしろ、

- 一日中、眠い、だるい
- 頭が痛い、頭が重い
- 気分が悪い
- わけもなくイライラする

といった、全身にもやがかかったような不快な症状として自覚されます。疲労による不快症状ですから、本当は「休む」という対処が一番のはず。しかし、鎮痛薬を飲んだり、コーヒーをがぶ飲みする、あるいはイライラする相手に当たる、といった間違った対処をしてしまいがちなのが特徴です。ますます疲労をため込むことによって集中力を欠いた結果、仕事でミスをしたり、周囲との関係が悪くなってしまったり、ということもよく見られます。

■共働き世代がやりがちな「仕事へのしがみつき」

もう一つ、やっつけてしまいがちなストレス対処法が「しがみつき」という行為です。

悔しい、つらい、腹が立つ。そんな嫌な気持ちを抑えるのはとても難しいもの。そこで人がよく行うのが「快感をかぶせる」という対処法です。とにかく快感をかぶせてしまうと、手っ取り早く嫌な感情は消えてしまう。その手段としてよく使われるのが「お酒」です。お酒を飲むと、ふわっとして一瞬楽しい気分になる。眠くなるから「眠って嫌なことを忘れられる」ようにも思えます。しかし実際はお酒が睡眠の質を下げ、よく眠れないから余計に苦しくなる。つい、また飲酒してしまう。このように、結果的に自分を苦しめるのにもかわらず、その行為を続けてしまうことを私は「しがみつき」と呼んでいます。

お酒だけではありません。共働きの子育て世代がやっつけてしまいがちなのが「仕事へのしがみつき」です。

仕事が積み重なってへとへとに疲れているけれど、家に帰れば子どもとしっかり向き合えていない罪悪感にさいなまれる。夫婦間にも険悪な空気が流れている……そんなモヤモヤを、仕事をしている間は忘れられる。だから、仕事に没頭することがお酒と同様に「忘れる効果」をもたらしてくれるのです。

仕事に没頭し、はかどれば「職場で認められる」「集中している間はストレスから一瞬逃れられる」というメリットが得られます。しかし、仕事は相変わらず大変だから、疲労はたまるいっぽう。小さいことにイライラし、「もっとがんばらなければ」と自分を追い込んで仕事に没頭し、さらに疲労がたまる、という悪循環を繰り返してしまいます。

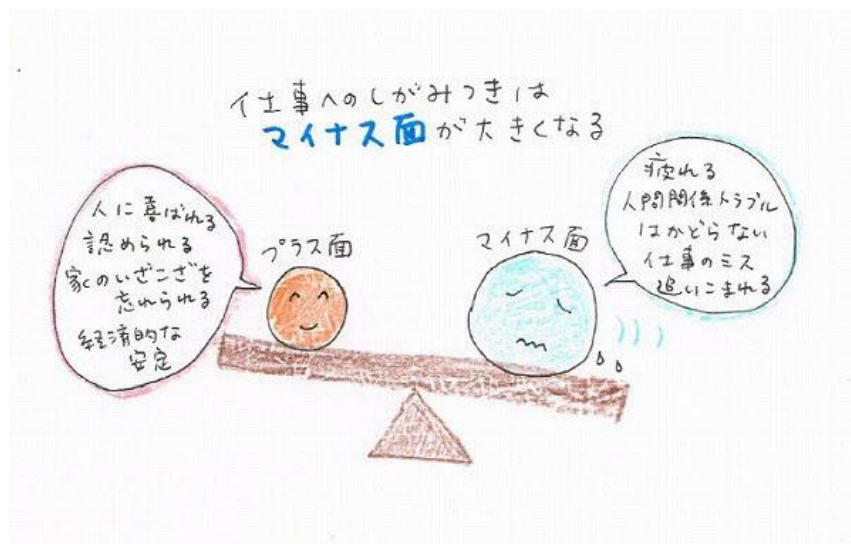
■「からだ電池・こころ電池」で疲れた自分を認める

最近、なんだかいろんなことが回らない……と悩んでいるあなた、まずは、あなたの今の疲れを客観的な尺度で表してみましよう。

人間は不思議なもので、先ほどお話しした「しがみつき」に関しても、人から「あなたは仕事にしがみついている。やめなさい」と言われても決して修正したいとは思えません。その人は仕事にしがみつ়くことでなんとか今日も持ちこたえている、だからしがみつきをやめると、もう自分はダメになってしまうような気がして怖いのです。

でも、誰かに言われるのではなく自分で気づくと、少しだけ自分の行動を変えられるものです。ぎゅっとしがみついている5本の指を1本ずつほどいていくような気持ちで、今、いっぱいいっぱい抱えている TO DO リストを減らしていく作業を始められるのです。

(イラスト：柳本操)



自分の疲れに気づく手段として役立つのが「からだ電池・こころ電池」という方法です。その日の“からだ電池”と“こころ電池”の充電率を数値で表現してみるだけ。通勤電車のなかで手帳のすみっこに書き留めるだけです。ほんの30秒ほどでできるやり方です。

【からだ電池・こころ電池のやり方】

(1) 自分のからだ電池、こころ電池の充電率を確認する

からだ電池とは、体の調子。こころ電池とは、心の状態。充電率が満タンなら100%。今日の自分はどうかと振り返って数値化してみましょう。

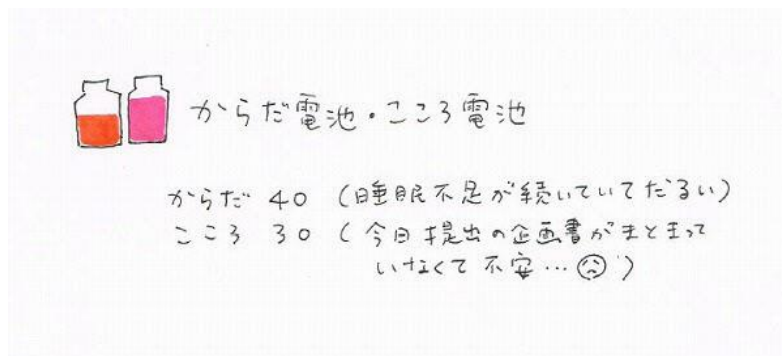
(2) 自分の数値の理由を考えてみる

数値を書き込んでから、理由も書いてみましょう。

例)からだ 40…睡眠不足が続いていて、だるい

こころ 30…今日提出の企画書がまだまとまっていなくて不安

(イラスト：柳本操)



こうやって自分の疲れを客観的に自覚するだけでも、「最近、イライラしていたのは疲れていたからかも」と、自分の疲れを認めることができます。また、前日夜に“寝落ち”して後悔していても、よく眠ったことでからだ電池が90になっていることに自

分で気づき「やっぱり睡眠って大事だな」と理解できるかもしれません。疲れてしまったのは決してあなたが弱いからとか、がんばりが足りないからではなく、「それほど今の生活が大変だから」なのです。

■TO DOは5つのうち、3つできたらヨシとする

よく、「今日はTO DOが5つある。優先順位の高い順にさっさと片付けなきゃ」というふうにリストを眺めるだけで決める人がいます。しかし、これでは不十分。なぜなら、「やる自分」について考えていないからです。

元気なときなら問題なく5つやれるはず。しかし、ここ数日疲れがたまっていて、体も心も充電率が低い状態であればもっとやるべきことを減らす必要があるかもしれない。一日の最初に自分の疲労度の振り返りをしておけば、「それでもやらなければいけないのは何

か」「手を抜けるとすれば、何か」というふうに見渡して、今日は3つだけにすることを
選択できます。やみくもに5つ全部をこなそうとして「やるべきことをクリアできなかった
ダメな私」と自分を責めるパターンに陥ることも避けられます。

「体は100、心も100です」と元気に答える人は、かえって心配です。周囲から見て「あ
なた、へとへとでしょう？」という人がこのような数値を言い続けている場合、疲労が深
刻すぎて知覚がまひし、不調を感じられなくなっている可能性があります。うつ症状の一
歩手前。とにかく休むことが必要です。



子育ては長期戦です。あなたが心も体も健康でいるためには、あなた自
身のエネルギーが枯渇してしまわないよう、ご自身の疲れをちゃんと認め
てあげてくださいね。

下園 壮太

1959年、鹿児島県生まれ。防衛大学校卒業後、陸上自衛隊入隊。筑波大学で心理学
を学ぶ。1999年より、陸上自衛隊初の心理幹部として、多くのカウンセリング経験を
積む。陸上自衛隊衛生学校メンタルヘルス教官として、衛生科隊員にメンタルヘルス、
自殺防止、カウンセリングなどを教育する。2015年退官。惨事ストレスに対応するNPOメンタルレスキ
ュー協会のシニアインストラクターとして、講義、チーム支援などを継続して担う。近著に『学校では絶
対に教えてくれない 自分のこころのトリセツ』（日経BP社）、『母が重い！しんどい「母と娘の関係」を
楽にするヒント』（家の光協会）などがある。

（ライター 柳本操）[日経DUAL 2015年9月17日付記事を再構成]

間もなく開始「ストレスチェック」 厚労省が無料ソフト公開へ

産経新聞 2015年11月20日

ストレスチェック制度の流れ



ストレスチェック制度の流れ

従業員50人以上の企業に義務づけられる「ス
トレスチェック」制度が12月から始まるのを前
に、厚生労働省が近く、パソコンでストレスチ
ェックを受けられる無料ソフトを公開すること
が19日、分かった。高いストレスを抱える従
業員が検出でき、本人に通知する検査結果も
出力できる。外部業者に検査の実施を委託す
る企業が増える中、ソフトを利用すれば企業
の負担が抑えられ、

実施が努力義務になっている50人未満の企業にも制度が広がるのが期待される。

ストレスチェック制度は、従業員がストレスに関する質問に回答し、自分のストレスの
状態を知ること、鬱病などの精神的な不調を防止する制度。過労やストレスで心の病に
なり、労災を申請する例が増える中、導入が決まった。

「時間内に仕事を処理しきれない」「何をするのも面倒」などの質問に答えると、スト
レスの状態が数値化される。長時間労働やストレスが多いと「医師による面接指導が必要
」と判定され、従業員が希望すれば医師の面接も行われる。会社は医師の意見を受け、労
働時間短縮や配置転換などの措置を取る。

面接指導に当たる医師は企業のことをよく知る産業医が望ましいが、
精神科が専門の産業医は少ない。東邦大医療センター佐倉病院（千葉県）
の黒木宣夫教授（精神神経医学）は「産業医と精神科医が連携できるシ
ステムが必要」と話す。厚労省は、専門医以外にも適切な面接指導を行
えるようにするため、面接指導に当たる産業医の参考となるマニュアルも
近く公表する。

